

「ディスカバー農山漁村の宝アワード」(第9回選定)応募要領

1. 趣旨

「ディスカバー農山漁村の宝」とは、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定し、全国への発信を通じて他地域への横展開を図るものです。

このため、他の地域の参考となるような優れた地域活性化の取組を募集します。

選定された地区に対しては、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村の宝」特設 Web サイトでの活動の紹介などを通じて、全国的な情報発信を行います。

【「ディスカバー農山漁村の宝」特設 Web サイト】

<https://www.discovermuranotakara.com/>

2. 応募について

(1) 募集する取組

地域において、新たな需要の発掘・創造や潜在している地域資源の活用を行うことにより、農林水産業・地域の活力創造につながる、次の①から③のいずれかに該当する取組とします。

① 美しく伝統ある農山漁村を次世代へ継承する取組

(例：歴史的景観、伝統、自然等の保全・活用を契機とした農山漁村活性化を図る取組、消費者や住民のニーズを踏まえた都市農業の振興に関する取組、関係人口の創出に資する取組、環境に配慮した農業を推進する取組 など)

② 幅広い分野・地域との連携により農林水産業・農山漁村を再生する取組

(例：農山漁村発イノベーション、6次産業化、地産地消、農福連携、震災復興、都市と農山漁村の共生・対流を推進する取組、女性・高齢者の活躍する取組、多様な分野（スポーツ、芸術、健康医療、再生可能エネルギー等）と連携した取組 など)

③ 国内外の新たな需要に即した農林水産業を実現する取組

(例：農泊を推進するためにインバウンドを含めた旅行者等を農山漁村に呼び込む取組、農林水産物の輸出に向けた取組、ジビエの普及啓発や需要拡大を推進する取組、スマート農林水産業や ICT を活用した地域づくり等のデジタルを活用した取組 など)

(2) 応募資格

① 「(1) 募集する取組」に該当する取組を行っている団体及び個人とし、自薦、他薦は問いません。

② 団体を対象とした「団体部門」、個人を対象とした「個人部門」の2部門を各々募集します。

③ 「団体部門」と「個人部門」の重複応募は可能です。

④ 過去に「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された団体は「団体部門」で再応募は出来ませ

んが、その構成員が「個人部門」で応募することは可能です。

(3) 応募方法

- ① 応募用紙を以下のURL（「ディスカバー農山漁村の宝」特設 Web サイト内）よりダウンロードし、必要事項を記入してください。

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>

※応募用紙（団体用及び個人用）の記入方法は、応募用紙（記載例）をご覧ください。

- ② 上記URLの応募フォームに必要事項を入力いただいたうえで、記入済の応募用紙を添付し、送信してください。

※応募方法にご不明な点がある場合は、「6.問合せ先」までご連絡ください。

(4) 応募期間

令和4年6月16日（木）から令和4年8月26日（金）まで

(5) 選定方法

応募資料をもとに、有識者懇談会において総合的に審査し、30地区(者)程度を優良事例とし、その中から部門ごとに以下の賞を選定し、表彰します。

また、部門を問わず、選定された優良事例の中から、分野ごとに先鋭的な取組に対して「特別賞」を選定し、表彰します。

① 団体部門

選定された優良事例の中から、最優良地区を「グランプリ」、事業化を通じて所得向上や雇用を生み出す取組等を「優秀賞」（ビジネス・イノベーション部門）、関係者の連携による活動で地域に活力をもたらす取組等を「優秀賞」（コミュニティ・地産地消部門）として選定し、表彰します。

※「コミュニティ・地産地消部門」については、コミュニティ、地産地消またはその両方を行っている取組を選定します。

② 個人部門

選定された優良事例の中から、優良者を「優秀賞」（個人部門）として選定し、表彰します。

(6) 有識者懇談会委員

選定審査を行う有識者懇談会委員は別紙をご覧ください。

3. 選定結果及び選定証の授与

選定結果については、10月頃に「ディスカバー農山漁村の宝」特設 Web サイト等で公表します。

また、選定証については、公表後に都内で開催する選定証授与式において授与する予定です。

4. 「地方版ディスカバー農山漁村の宝」について

- ・応募された取組は、上記の選定プロセスとは別に、「地方版ディスカバー農山漁村の宝」として、応募者の所在地を所管する各地方農政局等においても、審査・選定を行います。
- ・選定結果については、各地方農政局等による審査・選定の後、農林水産省のホームページ等において、公表を行います。
- ・地方版「ディスカバー農山漁村の宝」に選定された地区については、後日、各地方農政局等より、選定証を授与します。

※各地方農政局等が所管する都道府県は「6.問合せ先」をご覧ください。

5. その他

- (1) 提出された資料については、後日、担当窓口から内容等の問合せを行う場合があります。
- (2) 選定された団体の取組は、全国へ優良事例として紹介していくため、広報・PR活動、各種イベント等へのご協力をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- (3) 選定審査にあたり応募資料に虚偽又は選定後に優良事例としてふさわしくない行為があったと認められた場合には、選定を取り消し、選定証を返納していただくこととなります。
- (4) 応募いただいた連絡先（Eメールアドレス）に「ディスカバー農山漁村の宝」に関するイベント（セミナー等）の開催案内をさしあげる予定です。

6. 問合せ先（問合せ時間 10:00～17:00 ※平日のみ）

【応募フォームの操作について】

株式会社ブランドウ・ジャパン 法人営業部

TEL : 03-5470-4401

【応募の内容について】

応募者の所在地	問合せ先	住所	TEL
北海道	農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課 農泊推進室 予算・活性化G <事務局>	〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1	03-3502-5946
青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県	東北農政局 農村振興部 農村計画課	〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-3-1 仙台合同庁舎	022-261-6734 又は 022-263-1111 (内線 4057、4118)
茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県	関東農政局 農村振興部 農村計画課	〒330-9722 埼玉県さいたま市中央区新都心2-1 さいたま新都心合同庁舎2号館	048-740-0507
新潟県、富山県、石川県、福井県	北陸農政局 農村振興部 農村計画課	〒920-8566 石川県金沢市広坂2-2-60 金沢広坂合同庁舎	076-232-4531
岐阜県、愛知県、三重県	東海農政局 農村振興部 農村計画課	〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2	052-223-4629
滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県	近畿農政局 農村振興部 農村計画課	〒602-8054 京都府京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町	075-414-9051
鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県	中国四国農政局 農村振興部 農村計画課	〒700-8532 岡山県岡山市北区下石井1-4-1 岡山第2合同庁舎	086-224-9416
福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県	九州農政局 農村振興部 農村計画課	〒860-8527 熊本県熊本市西区春日2-10-1 熊本地方合同庁舎	096-211-9111 (内線 4781、4622)
沖縄県	沖縄総合事務局 農林水産部 農村振興課	〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2-1-1 那覇第2地方合同庁舎2号館	098-866-1652

有識者懇談会委員



あん・まくどなるど
上智大学大学院教授
慶應義塾大学特任教授

<メッセージ>

環境保全型農業や環境保全に資する取組等の多くの応募を期待しています。



今村 司
(株)読売巨人軍
代表取締役社長

<メッセージ>

企業と地域の連携や情報発信に関する取組等の多くの応募を期待しています。



織作 峰子
大阪芸術大学教授
写真家

<メッセージ>

棚田など、美しい景観の保全に資する取組等の多くの応募を期待しています。



田中 里沙
事業構想大学院大学学長
(株)宣伝会議取締役

<メッセージ>

ユニークなネーミングや話題作りで注目される取組等の多くの応募を期待しています。



永島 敏行
俳優
(有)青空市場代表取締役

<メッセージ>

食の流通販売やマルシェなどの地産地消に資する取組を応援します。特に農福連携や、森林の維持活用に配慮された取組を高く評価します。



林 良博
国立科学博物館顧問
東京大学名誉教授

<メッセージ>

高校・大学生などの若者の活躍に関する取組等の多くの応募を期待しています。



藤井 大介
(株)大田原ツーリズム 代表取締役社長
(株)ファーム・アンド・ファーム・カンパニー
代表取締役社長

<メッセージ>

農泊や観光など交流人口や関係人口の拡大に資する取組等の多くの応募を期待しています。



三國 清三
オテル・ドゥ・ミクニ
オーナーシェフ

<メッセージ>

ジビエの活用や高品質な食材の提供など食材に関する取組等の多くの応募を期待しています。



向笠 千恵子
フードジャーナリスト
食文化研究家
郷土料理伝承学校校長

<メッセージ>

伝統野菜や特産食材による郷土料理を継承し、日本の食文化発展に貢献する活動の応募をお待ちしています。



横石 知二
(株)いろどり
代表取締役社長

<メッセージ>

6次産業化や地域資源の有効活用に関する取組やコロナ禍を乗り切る取組等の多くの応募を期待しています。